特定非営利活動法人草加市カヌー協会

草加パドラーズ

[会報第 548 号] 令和 4 年 11 月 17 日発行

□草加パドラーズ事務局 住所 草加市松江 2-4-16 □電話 048-931-3844

蒲生船着場/6 名 枯木大量回収

10 月 16 日（水）定例活動に、木村、吉良、渋谷、高橋、牛島、長谷川の 6 名が蒲生船着場間 2.1 ㎞で 3 袋分の浮遊ゴミと大量の枯れ木ゴミの回収をしました。冬が近づき肌寒い日が続いていましたが、風もなく快晴の中で快適に活動ができました。

草加南水門には筏ゴミが！

前回活動時に、護岸の草刈り業者が刈った草木を大量に川に捨てているところを目撃

しましたが、そのゴミが固まった状態の「筏ゴミ」としていくつもが川を流れています。今回は救助艇の出動がなかったため、カヌーでの回収となり積める限りの範囲で回収を行いました。

草木を川に流すことは悪影響

草木を大量に川に流すと、大きなものはすぐには自然にかえることなく、他の浮遊ゴミや泥を巻き込んで少しずつ大きくなり、最終的には巨大な浮島が形成され、船舶の航行の妨げとなり、事故の原因となります。また、河川で回収しきれなかった浮島は湾などに溜まり、回収船を使った回収作業が行われています。生き物の生態環境にも悪影響を与えるため刈り取った草を川に流さず、しっかりと処分を行うことが大切です。

松尾芭蕉杯の安全確保/枯れ木回収を！

昨年の松尾芭蕉杯では、枯れ木の影響でレースに支障が出てしまいました。スプリント部門のカヤックはラダーがついているため、少しの枯れ木でも引っ掛かれば転覆の可能性があります。大会までの残りの期間で可能な限り回収しましょう。

松尾芭蕉杯カヌー大会まで残り二週間を切りました！

＜警察・消防へ協力要請＞（11/16）

11 月 16 日（水）の定例活動後、木村、井坂、牛島の 3 名が、草加警察と草加八潮消防局を訪問し、松尾芭蕉杯カヌー大会の開催告知と協力要請をしました。
消防署の訪問には草加市役所スポーツ振興課の職員 2 名にも同行して頂き、大会内容の説明と、選手が沈した場合の救助をお願いしました。

＜大会セレモニー用電源の確認＞（11/17）

11 月１７日（木）午後 3 時に、木村、古田、井坂の 3 名と、草加市みどり公園課の職員 2 名で、松尾芭蕉杯カヌー大会のセレモニーで使用する１００Ｖ電源の場所を確認をしました。当日はみどり公園課職員の立会いがなくても使えるよう、電源蓋の鍵もお借りすることができました。

＜リバーサポーターズのＴシャツ・帽子の受け取り＞

11 月 17 日（木）セレモニー用電源の確認後、木村、井坂、古田の３名は、越谷市環境管理事務所を訪問し、リバーサポーターズ（リバサポ）の支給品の**Ｔシャツ・帽子（各 20 個）とゴミ袋３００枚を受け取り**ました。
先日、会員が１４５名を突破したことにより、支給品が足りなくなってしまっていましたが、今回の支給によって現会員全員分の確保をすることができました。

SAITAMA / リバーサポーターズ

（埼玉県河川事業
　　リバーサポーターズ）